

平成27年度事業報告 公益財団法人群馬健康医学振興会

1. 社会医療福祉活動および健康医学教育の振興、地域住民の医療啓蒙を目的とした書籍の出版事業

最新の医学の進歩と、法人活動の成果を地域住民に知らしめるための書籍を発刊する。おおむね5年ごとの研究助成、講師派遣の成果、及びその間に法人が収集した最新の医学の進歩について広く県民、地域住民に知らしめるために法人が書籍を発刊し、地域の医師会、病院、学校施設、行政機関などに寄贈するとともに一般の書店、病院内で販売する。

(発刊手続き)

平成28年度の出版を予定している。

平成26年2月26日に、理事の事務分担・機能別における医師シリーズ発刊担当理事による打合せを実施。次刊(第6刊)の発行について検討が行われ、平成28年度の発刊が確認された。

このため平成27年度においては、各担当理事が医師シリーズの内容の詳細について次のとおり検討、打合せと情報収集を行っており、平成27年度中に出版要旨をまとめ、平成28年度に出版する。

平成27年8月18日 「医師シリーズ発刊」(企画・立案)担当理事による内容について検討が行われた。

平成27年9月15日 同担当理事による具体的な内容の案の作成を検討した。

平成27年10月31日 第5刊発刊の編集責任者の中島先生との打合せを行った。

平成28年1月13日 第6刊の内容は「肥満」を主題に発刊することとした。

(検討された次刊の内容)

- ①スーパー図解 家庭の医学ニーズと絵でみる病気とその対応
- ②ありふれた心の不調—不眠、疲れ、意欲減退など—
- ③発達障害 おとなと子ども
- ④家庭でここまでできる応急手当
- ⑤症状でひく病気早わかり
- ⑥肥満症(一般成人向け) 肥満症と関連した病気との関連
- ⑦糖尿病、高脂血症、高血圧等・・・成人病シリーズ、高齢者向けシリーズ

2. 地域医療の向上を目的とした医療関係職等が中心になって行う研究、事業に対する研究助成金の交付

群馬県内または近郊、その他の地域に勤務する医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、療法士、保健師、社会福祉士、その他の保健、医療及び福祉関連職、教員、団体等が年度内に行う研究または事業であって、平成27年度においては、以下の群馬健康医学振興会の事業に則った次の活動に研究助成金を交付した。

平成27年度 公益財団法人群馬健康医学振興会 助成金採択者（五十音順）

- (1) NPO群大クラブ マネージャー 阿部尚子
高齢者交通安全向上プロジェクト事業
- (2) 群馬大学大学院医学系研究科 重粒子線医学研究センター 助教 酒井真理
細胞の放射線耐性と一時的な突然変異機能の上昇機構の解明
- (3) 群馬大学医学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士 菅谷知明
「METs」と身体・運動特性との関連性～トレッドミル走行を用いた検討～
- (4) 桐生大学 医療保健学部 看護学科 教員 高橋美砂子
ポピュレーションアプローチとしての口腔機能低下予防体操(みんなのお口の体操)
の啓蒙・普及活動
- (5) 高崎健康福祉大学 理学療法学科 助手 千木良佑介
地域の通所リハビリテーション(デイケア)における内部障害患者の割合とリスク管理について
- (6) 群馬大学医学部附属病院 消化器外科 助教 豊増嘉高
胃癌術後患者における栄養状態の評価
—術式間での脂溶性ビタミンの血中濃度に着目して—
- (7) 前橋赤十字病院 放射線科 放射線技師 星野洋満
脳脊髄液漏出症における脳槽シンチ検査による患者負担が低く精度の高い診断法の確立
- (8) 群馬大学大学院医学系研究科 大学院生 細貝真弓
サイトメガロウイルス眼感染症におけるウイルス遺伝子型の解析

3. 群馬県で行われる市町村、社会福祉、民間団体等、県民および近隣の住民が主体とな
って行う健康づくりを目的とした医学、医療福祉に関する公開講座、セミナー、研究会、
学術集会、学会、ワークショップ、その他の地域保健活動に対する指導、講師派遣、コ
ンサルティング等の支援および本財団法人との共催事業の開催

関東地方、県レベルで行われる教育機関、スポーツ競技団体等が主催するスポーツ競
技会、地域住民が参加する交流会、健康増進を目的とした事業への協力、帯同ドクター、
トレーナー、看護師、薬剤師、栄養士等の支援医療スタッフの派遣

地域で行われる健康診断、メディカルチェック事業等に対する医療専門職の派遣、コ
ンサルティング活動の実施

平成27年度においては、次のとおり講師派遣の事業を実施した。

(実施事業)

講師派遣

- (1) 平成27年12月15日 明寿大学 同窓会 前橋市
「運動療法 筋力を鍛えるには」
- (2) 平成28年1月22日 群馬マスターズクラブ 前橋市
「ストレスチェック義務化法に対する対策」
また、自分自身のストレスについて
- (3) 平成28年2月21日 前橋市昭和町二丁目自治会「生涯学習教室」
高齢者の健康維持のため
- (4) 平成28年3月3日 邑楽町保健センター
「自殺予防講演会」
思春期(若年者)のいのちを地域でどう支えるか

4. 第117回日本外科学会定期学術集会に対する助成

県民の健康増進、地域医療の充実、先進医療の振興を図るとともに医学に関する情報
を広く県民に発信するため、平成29年に開催される第117回日本外科学会定期学術
集会に対する助成事業を実施する。

日本外科学会は、日本内科学会とともに国民の健康増進確立と疾病治療のために活動
する学術団体である。本学会の目的と活動は、外科学を通じて本邦のみならず世界のあ
らゆる分野の医学の研究活動、医療の進歩に貢献するものである。

このたび、国立大学法人群馬大学医学系研究科病態総合外科学分野が、日本外科学会
定時学術集会を主管することとなり、県内においても市民公開講座が開催されることと
なったため、本学術集会に支援することによって、地域住民の健康増進、地域医療の振
興に貢献する。

(1) 事業内容

日本外科学会定期学術集会は全国の外科が集まり世界各国からも著名な外科医師、研究者が招かれて討論するものである。この活動は国内外のあらゆる分野の医学、進歩に大きく貢献するものである。

(2) 財源

寄附金収入

(3) 実施期間

平成28年3月から平成29年まで

公益財団法人群馬健康医学振興会

財産目録
(平成28年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	明細等	金額
(流動資産)		
当座預金	ゆうちょ銀行(医学ガイド)	26,248
	ゆうちょ銀行(賛助会費)	1,908,696
普通預金	東和銀行	1,175,911
	三井住友銀行	195,441
	みずほ銀行	113,704
	ゆうちょ銀行(特定資産の利息等)	128,985
流動資産合計		3,548,985
(固定資産)		
基本財産	三井住友銀行	10,000,000
特定資産 (書籍発刊資金)	ゆうちょ銀行	5,000,000
特定資産 (定期学術集会支援資金)	東和銀行	21,550,000
固定資産合計		36,550,000
資産合計(預金残高)		40,098,985
(流動負債)		
預り金	源泉所得税	7,050
流動負債合計		7,050
固定負債合計		0
負債合計		7,050
正味財産		40,091,935

公益財団法人群馬健康医学振興会

理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類

公益財団法人群馬健康医学振興会定款第12条及び第27条の規定により、理事、監事及び評議員の報酬は、無報酬とする。

<定款抜粋>

第4章 評議員

(報酬等)

第12条 評議員は無報酬とする。

2 前項の規定にかかわらず、評議員には費用を弁償することができる。

第6章 役員

(報酬等)

第27条 役員は、無報酬とする。

貸借対照表

平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,548,985	19,040,429	15,491,444
流動資産合計	3,548,985	19,040,429	15,491,444
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	10,000,000	0	10,000,000
基本財産合計	10,000,000	0	10,000,000
(2)特定資産			
書籍発刊資金	5,000,000	0	5,000,000
定期学術集会支援資金	21,550,000	0	21,550,000
特定資産合計	26,550,000	0	26,550,000
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	36,550,000	0	36,550,000
資産合計	40,098,985	19,040,429	21,058,556
負債の部			
1. 流動負債			
預り金	7,050	4,020	3,030
流動負債合計	7,050	4,020	3,030
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	7,050	4,020	3,030
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	21,550,000	0	21,550,000
指定正味財産合計	21,550,000	0	21,550,000
2. 一般正味財産	18,541,935	19,036,409	494,474
正味財産合計	40,091,935	19,036,409	21,055,526
負債及び正味財産合計	40,098,985	19,040,429	21,058,556

正味財産増減計算書

平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
賛助会員受取会費	2,380,000	2,010,000	370,000
事業収益			
保険事業収入	5,511,606	5,472,833	38,773
書籍販売収入	0	31,500	31,500
事業収益計	5,511,606	5,504,333	7,273
雑収益			
受取利息	4,238	3,588	650
雑収益	6,134	10,800	4,666
雑収益計	10,372	14,388	4,016
経常収益計	7,901,978	7,528,721	373,257
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	0	23,405	23,405
給料手当	2,856,168	2,666,850	189,318
旅費交通費	132,350	29,490	102,860
通信運搬費	136,239	87,783	48,456
消耗什器備品費	52,013	253,721	201,708
消耗品費	71,855	115,379	43,524
修繕費	12,096	0	12,096
印刷製本費	143,710	178,543	34,833
光熱水料費	29,699	26,208	3,491
賃借料	163,584	161,280	2,304
諸謝金	48,000	63,411	15,411
租税公課	967,000	614,600	352,400
支払助成金	1,800,000	1,600,000	200,000
委託費	324,000	334,800	10,800
広報活動費	439,559	0	439,559
雑費	163,190	92,267	70,923
事業費計	7,339,463	6,247,737	1,091,726
管理費			
給料手当	317,352	296,315	21,037
福利厚生費	282,077	267,406	14,671
旅費交通費	14,705	3,270	11,435
通信運搬費	45,413	29,260	16,153
消耗什器備品費	13,003	63,431	50,428
消耗品費	23,952	38,460	14,508
修繕費	3,024	0	3,024
印刷製本費	35,928	44,636	8,708
光熱水料費	7,425	6,553	872
賃借料	40,896	40,320	576
雑費	54,396	30,756	23,640
管理費計	1,056,989	911,497	145,492
経常費用計	8,396,452	7,159,234	1,237,218
評価損益等調整前当期経常増減額	494,474	369,487	863,961
当期経常増減額	494,474	369,487	863,961
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	494,474	369,487	863,961
当期一般正味財産増減額	494,474	369,487	863,961
一般正味財産期首残高	19,036,409	18,666,922	369,487
一般正味財産期末残高	18,541,935	19,036,409	494,474
指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	21,550,000	0	21,550,000

当期指定正味財產增減額	21,550,000	0	21,550,000
指定正味財產期首殘高	0	0	0
指定正味財產期末殘高	21,550,000	0	21,550,000
正味財產期末殘高	40,091,935	19,036,409	21,055,526

監 査 報 告 書

公益財団法人群馬健康医学振興会

理事長 森川 昭廣 殿

平成 28 年 5 月 26 日

公益財団法人群馬健康医学振興会

監事 梅枝 定則



公益財団法人群馬健康医学振興会

監事 鈴木 庄亮



私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。